



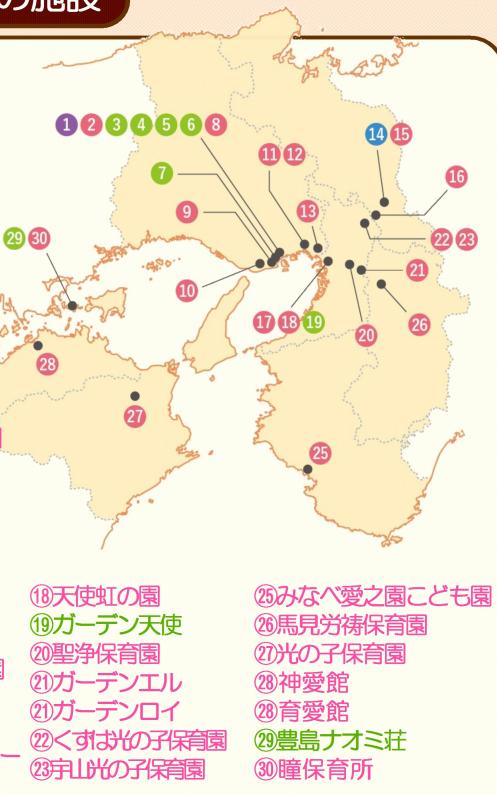
●賀川豊彦とイエス団



- ▶賀川豊彦は、神戸市で生まれ、徳島県鳴門市で青春時代を過ごし、徳島中央高校在学中にキリスト教と出会いました。
- ▶生来身体が丈夫ではなかった賀川は、大学在学中に医師から死を宣告されるほどの大きな病気を患いました。奇跡的に回復した賀川は、自分の命を人のために用いることを決意し、1909年12月24日。神戸で生活に苦しむ人たちが多く住む地域に、単身住み込んで事業を開始しました。
- ▶イエス団は、この賀川が始めた事業をルーツとして以来、110年余り。様々な困難さを抱える人たちと一緒に歩む「賀川精神」を法人の理念に据え、取り組みを進めています。神戸・大阪・京都を中心に2府5県で40の施設（事業体は65）で約2000人近い職員が同じ理念の元、働いている法人です。

●イエス団の施設

- ①法人本部
- ①賀川記念館
- ②友愛幼稚園
- ③真愛ホーム
- ③あらたホーム
- ④東川崎真愛
- ⑤ゆうき
- ⑥くもちホーム
- ⑦ときやまホーム
- ⑧二宮保育園
- ⑨神視保育園
- ⑩のぞみ保育園
- ⑪甲子園幼稚園
- ⑫一麦保育園
- ⑬みどり野保育園
- ⑭愛隣館
- ⑮空の鳥幼稚園
- ⑯野の百合保育園
- ⑰桃陵保育園
- ⑱桃陵乳児保育園
- ⑲ぶどうの木保育園
- ⑳四貫島友隣館
- ㉑天使保育園
- ㉒天使ベビーセンター



イエス団憲章

～私たちは賀川豊彦献身90年にあたり ここに憲章を定める～

賀川豊彦は1909年12月24日に
当時の社会矛盾からくる社会悪とたたかい、
最微者（いと小さき者）に仕えるために事業をおこし、
多くの賛同者にまもられ今日に至った。
そこで21世紀を生きる私たちイエス団に運なる一同は、
イエス・キリストの勝利愛に触れ、
それを実践することを終生貫き通した
賀川豊彦の精神を引き継ぐものである。

- 私たちは、賀川豊彦が実践した
settler（地域に生きる人々と共に歩む者）の精神を引き継ぐ。
- 私たちは、自立と相互扶助を目指した
開拓的・実験的事業の精神を引き継ぐ。
- 私たちは、地域を越え、国境を越えて
共に生きる平和な世界の実現に努めた精神を引き継ぐ。

1999年12月24日

ミッションステートメント2009

わたしたちイエス団の実践は、
1909年12月24日の賀川豊彦の献身が始まる。
そして、イエスの愛に放り、
互いに仕えあい、社会悪と闘い、
新しい社会を目指して
多くの協力者とともに今まで歩み続けてきた。
この歴史を検証し、働きを引き継ぎ、
今、わたしたちはイエスに倣って生きる。

わたしたちは、いのちが大切にされる社会をつくりだす
わたしたちは、隣り人と共に生きる社会をつくりだす
わたしたちは、違いを認め合える社会をつくりだす
わたしたちは、自然が大切にされる社会をつくりだす
わたしたちは、平和をつくりだす

2009年12月24日

●イエス団の事業

高齢者と共に

一人ひとりを個性豊かな一人の人として受け止め、尊い生命と生活を守り、日々喜びがあるように努めています。地域のニーズに応じたさまざまなサービスを開いています。

- ▶特別養護老人ホーム
- ▶地域包括支援センター
- ▶小規模多機能型居宅事業
- ▶居宅支援・ヘルパー

障がいのある人と
と共に

障がいの有無にかかわらず、私たちは地域社会を構成する一人の市民であり、お互いに人格と個性を尊重し合うことが大切です。

- ▶違いを認め合い、その人らしく生きることのできるインクルーシブな社会の実現を目指しています。
- ▶居宅介護・重度訪問介護
- ▶生活介護（ティサービス）
- ▶基幹型相談支援センター
- ▶グループホーム

子どもと共に

子どもの育ちを保障し、また、子育て家庭を支える施設や事業を展開しています。

- ▶乳児院
- ▶児童養護施設
- ▶保育園
- ▶幼稚園
- ▶認定こども園
- ▶児童館・学童保育
- ▶地域子育て支援
- ▶障がい児通所支援事業

地域の人と共に

人格交流運動の場としての隣保（セツルメント）事業を法人の根本活動と位置付け、それぞれの地域の課題に沿った役割を果たすべく展開しています。

- ▶賀川記念館（神戸市）
- ▶四貫島友隣館（大阪市）
- ▶愛隣館研修センター（京都府）